

泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより
Thai Japanese Association School



令和7年度
第6号

<https://www.tjas.ac.th>

小学部職員室

02-319-5457

中学部職員室

02-314-7335

研究主任 勝部 高
イメージ担当チーフ 永見 伸之

バンコク日本人学校の教育活動の特徴

保護者のみなさま、いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今回は、本校教育活動の特徴である「国際バカロレア教育の良さを取り入れた教育活動」及び「イメージ教育」についてお伝えいたします。

国際バカロレア教育の良さを取り入れた教育活動

次の表は、本校HPに掲載している「本校の教育内容 -国内校・インター校との違い-」です。ここでは「国際」「文化」といった言葉が複数使われ、本校教育活動の特徴の一つが表れています。

本校の教育内容	日本の文部科学省の学習指導要領に基づく教育課程の実施。 →日本帰国時や受験時にギャップを生じさせない。	日本国内の学校
	日系企業と連携した職場体験学習・講演会 →親の背中を見せ、 国際社会 の中での 将来の自分 について考えさせる。	本校にしかできない教育を提供し、保護者や社会のニーズに応える。
	英語Native教員によるOxford英語教育（単なる英会話ではない）。 → 国際社会 で 通用するコミュニケーション能力 を身に付けさせる。	親をはじめとする海外で働く日本人の姿を見ることや、異文化の学習・体験を通じて、 日本や日本文化 を再認識させ、 日本人としてのIdentityと誇り を育む。
	タイ語授業・現地校との交流・校外学習。 →異文化を学び、 多文化共生精神 を育む。	インター校
国際バカロレアの指導精神の導入 → グローバルな視点と国際社会で生きる力 を身に付けさせる。		

また、運営方針には「国連が提唱するSDGs及び国際バカロレア機構が設定した10の学習者像に賛同し、これらを意識した教育を実践する。」と示し、次の資料を掲載しています。

学校内の数か所に
掲示しています

Learner Profile



国際バカロレア機構が設定した10の学習者像

「バランスのとれた人」「思いやりのある人」
「コミュニケーションができる人」
「探究する人」「知識のある人」
「心を開く人」「信念をもつ人」
「振り返りができる人」「挑戦する人」
「考える人」

国際バカロレア教育は、スイスのジュネーブに本部を置く教育組織が提供する3歳から19歳までを対象とした国際的な教育プログラムです。その教育課程を実施している学校は児童生徒に身につけさせたい姿としてこの「10の学習者像」を中心に位置づけています。

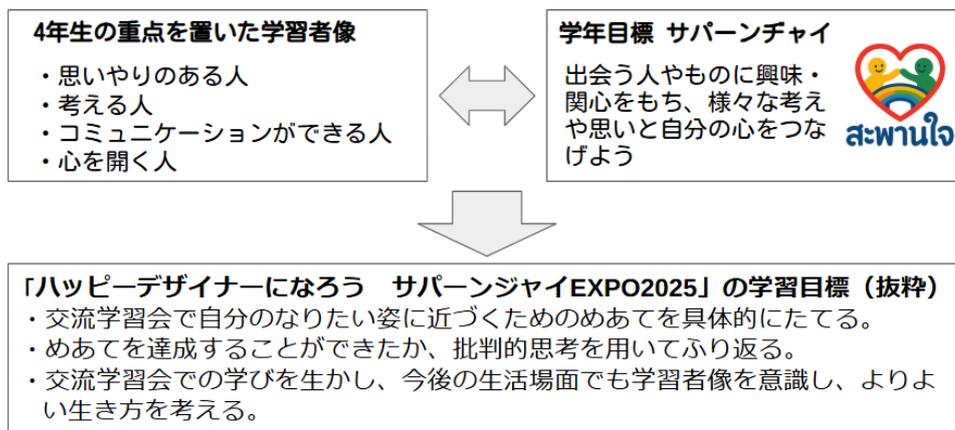
本校は日本の文部科学省の学習指導要領に基づく教育課程を行っています。そのため、教育活動を根本的に変えるのではなく、国際バカロレア教育の良さを取り入れることをねらいとしています。2年前からは、その実践をより良いものにしようと研究を重ねています。今年度は、各学年で10の学習者像の中から重点的に意識する行動の様子を決めました。2学期からは、それを子供たちと共有するため、各教室に写真の様に掲示しています。



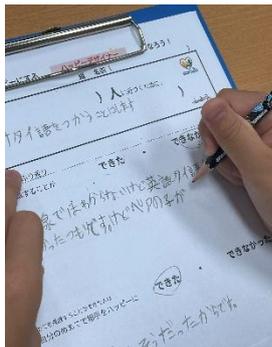
具体例で紹介

4年生の総合的な学習の時間の学習 「ハッピーデザイナーになろう（交流学習会を通して）」

4年生が重点的に意識する学習者像は「思いやりのある人」「考える人」「コミュニケーションができる人」「心を開く人」です。この行動の姿と学年目標を関係づけて学習の目標を設定しています。



「ハッピーデザイナーになろう」では、交流学習会でゲストとして迎えるシーナカリン大学附属小学校のみなさんに対し、ホストとしてどのように交流の内容を計画するか考える中で、子供がめざす姿を自分なりに決め、その力をつけるよう学びを進めます。学習の途中には、どのような力がついたのかをめざす学習者像を基に友達と振り返るなど、学習指導要領で大切にされている「対話的な学び」も取り入れながら、自分の課題に対して探究的な学びを進め、「深い学び」につなげています。



様々なパビリオン（ブース）で自分の今の目標でゲストが楽しめるか、クラスの友達をゲストに見立てて、自分の目標を確かめています。



この学習で、どのように力をつけるか、自分で目標を立てます。その目標に迫るための具体的な行動を考えます。活動の後、できたこと、できていないことを友達と一緒に振り返り、成長につなげます。

このような国際バカロレア教育の良さを生かした教育活動を1～9年生まで体系的に行っています。子供たちが世界を理解し、学校を卒業した先の人生で豊かに暮らすために生きる力、さらに、20年・30年後、社会が変化した先でも役立つ力を身につけさせられるように、特徴的な教育活動の一つとして進めていきます。

イマージョン教育について

イマージョン教育とは

イマージョン教育とは、英語とフランス語を公用語とするカナダで生まれた教育手法で、習得したい言語（目標言語）を使用して教科の学習を行うことによって、目標言語の習得と教科内容の理解の両方を目指すものです。子供たちを目標言語の環境に浸す(immerse)ことから「イマージョン教育」と呼ばれています。

本校での取り組み

本校では、「世界に貢献する日本人を育てる」というミッションのもと、特色ある教育活動を展開していますが、その中の一つとして力を入れているのがイマージョン教育です。英語「を」学ぶことはもちろん、英語「で」学ぶことで、生きた英語を身につけさせることを目指し、数年前に試行的に実施を始め、改善を重ねながら現在に至ります。今年度は、小学部の全学年を対象に、図工科の授業を英語で行う取り組みを進めています。

今年度の取り組みの様子

【6年生】「墨と水から広がる世界」（3時間）、「1枚の板から」（8時間）を英語で実施しました。活動を通して、技法名や道具の名前を英語で覚え、実際に学習した英語表現を使って友達や先生に伝える経験ができました。アンケートでは、多くの児童が「英語と図工を同時に学べて楽しかった」「新しい感じがしてワクワクした」と回答しており、普段の授業とは一味違う体験に刺激を受けた様子がうかがえます。多くの児童が「もっと英語を勉強したい」「次はもっと挑戦したい」と前向きな気持ちをもっていったことが印象的でした。



Let's review!

Q1. What technique has been used?



- ① Bleeding
water→ink
- ② Blurring
ink→water
- ③ Dry Brushing
a little ink

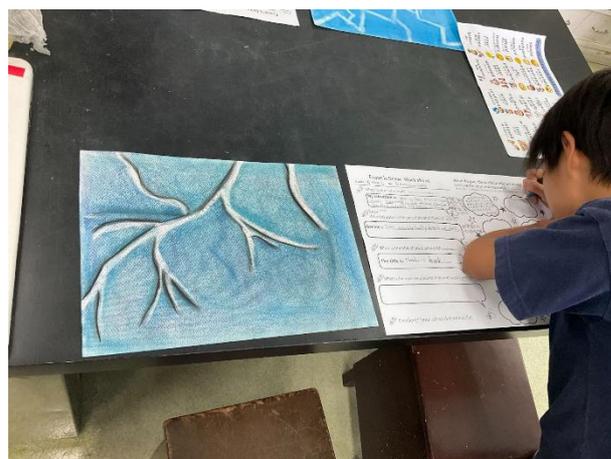


【5年生】「消してかく」（4時間）、「美しく立つはり金」（4時間）を英語で実施しました。5年生の学年目標「Try Everything」を大切にしながら、学習した道具の名前や英語表現を使ってみようという勇気を行動に移していく姿が、回を重ねるごとに徐々に増えていきました。特に、自らの伝えたい内容を英語でどのように表現するのかということに興味をもち、積極的に質問したり調べたりする様子が印象的でした。知識はあっても、実際に使うとなると「間違えたらどうしよう」という不安や恥ずかしさを感じることもあると思います。そうした気持ち乗り越えて、一生懸命に英語を使おうとする姿がたくさん見られた取り組みでした。



Lesson Schedule (4 lessons)

①	②	③	④
Practice (練習)	Performance (本番)	Performance (本番)	Appreciating friends' artworks (鑑賞活動)
知識・工夫する力	考える力	知識・工夫する力 ねばり強くがんばる力 考える力	考える力
	wire 	plier 	



これからも、子供たちが英語で学ぶ楽しさや喜びを味わいながら、生きた英語を身につけていけるよう、取り組みを進めてまいります。